PN J613-M3518-02 Rev.A 000825

PCI-TXB

取扱説明書・Windows NT® 4.0編

http://www.corega.co.jp/

この度は、「corega PCI-TXB」LANアダプター（以下、本製品）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を Windows NT 4.0 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。ハードウェアの設定などは、本製品に付属の取扱説明書＜ Windows98編 ＞をご覧ください。

また、以下に挙げた例は一例であり、お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがありますことをご了承ください。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされておらずこれからインストールします。
- Windows NT Ver. 4.0 Workstation を使用し、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えます。

目次

1 インストール時のご注意 1
2 ドライバーのインストール 2
2.1 用意するもの 2
2.2 新規インストール 2
3 インストールの確認とアダプターの設定 5
3.1 リソース値の確認 5
3.2 ドライバーの設定 5
4 本製品を使用しないとき 6
5 ドライバーの削除 6
6 ドライバーの再インストール 7

1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。

注意 Windows NTのハードウェア互換性リスト（Windows NTパッケージに同梱されています）に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

注意 NEC PC98-NX にインストールされた Windows NTのもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。

注意 本取扱説明書に記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。

注意 本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に行うことは避けてください。必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NTは Plug & Playをサポートしていないため、Windows NTと本製品のインストールを同時に行うと、Windows NTのインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。

サービスパックについて

注意 **重要**：WindowsNTのサービスパックをインストールしているか確認してください。
「スタート」→「プログラム」→「管理ツール（共通）」→「Windows NT診断プログラム」と進むと、「バージョン」タブが表示されます。表示が「Service Pack 2」以上であればサービスパックをインストールしていますので、ドライバーのインストール後、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、WindowsNTが起動できなくなることがあります。

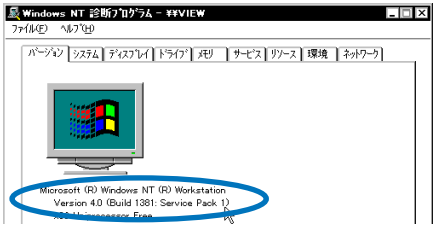

図 1-1 サービスパックの確認

2 ドライバーのインストール

2.1 用意するもの

- PCI-TXB アダプター本体、UTP ケーブルなど
- コンピュータ（Windows NT 4.0 インストール済み）
- Windows NT の CD-ROM
- PCI-TXB ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows NT サービスパック（サービスパックをインストールしている場合のみ）

2.2 新規インストール

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。

図 2.2-1 「ネットワーク」（コントロールパネル）

2. 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか？」の問いに対して、「はい（Y）」をクリックしてください。※1

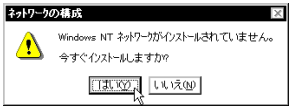

図 2.2-2 ネットワークのインストール開始

※ 1. 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない（D）」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関する WindowsNT ファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ→「追加」と進むと、手順 5. の図 2.2-5 が表示され、本製品のみのインストールが始まります。

3. 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続（W）:」にチェックマークを付け、「次へ（N）」をクリックしてください。

図 2.2-3 ネットワークセットアップウィザードの起動

4. 以下のダイアログが表示されたら、「一覧から選択（S）...」をクリックしてください。

図 2.2-4 ネットワークアダプタは一覧から選択

5. 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用（H）...」をクリックしてください。

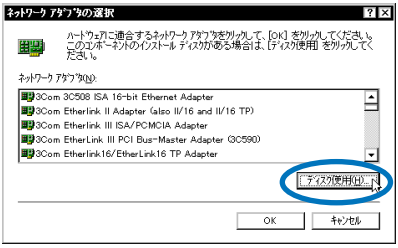

図 2.2-5 ネットワークアダプタの選択にディスクを使用

6. 次のダイアログが表示されますので、本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、パス「A:\windows.nt」を入力し、「OK」をクリックしてください。

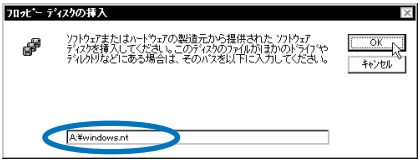

図 2.2-6 ドライバーの所在の指定

7. 次のダイアログで、「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を選択し、「OK」をクリックしてください。

図 2.2-7　選択するドライバーを確認

8. 「ネットワークアダプタ(A):」の「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」にチェックマークを付け、「次へ（N）:」をクリックしてください。

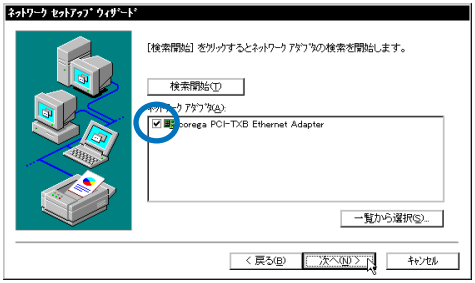

図 2.2-8　ドライバーファイルの検索開始

9. 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ（N）:」をクリックしてください。（詳細はシステム管理者にご確認ください。）ここでは、「TCP/IP プロトコル」のみをチェックすると仮定します。

図 2.2-9　使用するネットワークプロトコルをチェック

10. 使用するサービスを設定し、「次へ（N）」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご確認ください。

図 2.2-10 使用するサービスをチェック

11. メッセージを確認して、「次へ(N)」をクリックしてください。

図 2.2-11 ネットワークコンポーネントのインストール

12. Windows NT の CD-ROM をドライブに挿入し、「**D:\i386**」と入力してください。

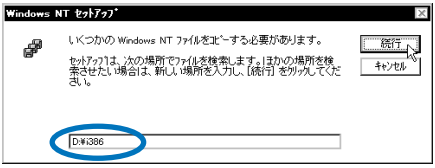

図 2.2-12 WindowsNT ファイルの所在の指定

13. 本製品の設定ダイアログが出ますので、Connection Type を選択してください。Connection Typeについて詳しくは、「3.2 ドライバーの設定」を参照してください。

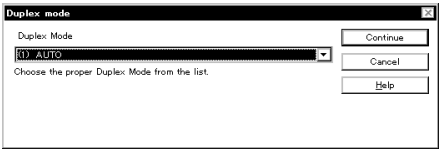

図 2.2-13 本製品の設定（例）

14. ドライバーおよび Windows ファイルのコピーが始まります。手順 9. で「TCP/IP プロトコル」を選択した場合はここで「DHCP を使用するか？」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ（N）」をクリックすると仮定します。

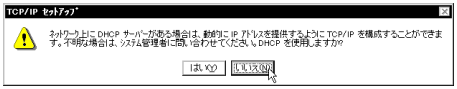

図 2.2-14 DHCP メッセージ

15.14. で「いいえ」を選択した場合は「TCP/IP のプロパティ」として IP アドレスなどの値を設定します。

以下の説明では、具体的なアドレス、名称を使用しますが、これらはお客様の環境におけるものを入力してください。

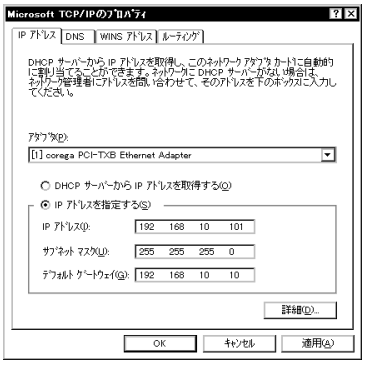

図 2.2-15 TCP/IP の設定（「IP アドレス」タブ）

上図（図 2.2-15）は、あくまでも設定例です。IP アドレスの設定について詳しくはシステム管理者にご確認ください。

16.DNS （Domain Name System）の設定をします。「DNS」のタブをクリックしてください。下に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「PC1」を仮定しています。

図 2.2-16 TCP/IP の設定（「DNS」タブ）

17.続いて、「WINS（Windows Internet Name Service）アドレス」の設定を行います。

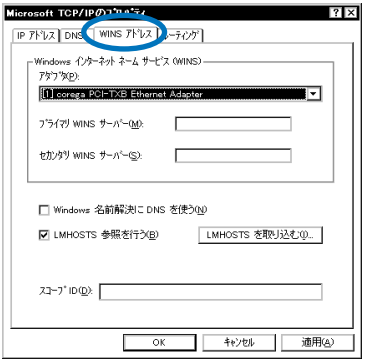

図 2.2-17 TCP/IP の設定（「WINS アドレス」タブ）

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

Windows NT Server をご使用の場合は「DHCP リレー」タブがあります。DHCP リレーの詳細は Windows NT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

18.「次へ（N）」をクリックしてください。

図 2.2-18 バインドの確認

19.「次へ（N）」をクリックしてください。

図 2.2-19 ネットワーク起動の確認

20.「次へ（N）」をクリックしてください。ここでは「ワークグループ（W）」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

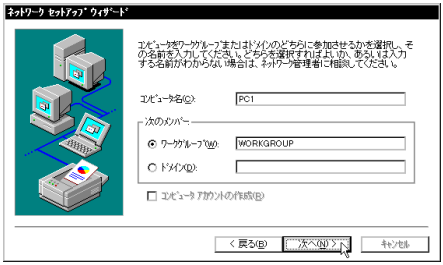

図 2.2-20 ワークグループなどの設定

21.「完了」をクリックしてください。

図 2.2-21 インストールの完了

WindowsNT の**サービスパックをインストールしている場合、「いいえ**（N）」をクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「はい（Y）」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

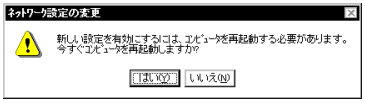

図 2.2-22 再起動の確認

注意

重要：本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされていたWindowsNTの最新のファイルが、CD-ROMの古いバージョンのファイルによって上書きされます。**サービスパックをインストールしている場合**、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。**サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、WindowsNTが起動できなくなることがあります。**

3 インストールの確認とアダプターの設定

3.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース（I/O アドレス、インタラプト）が割り当てられます。これらの値はPCIローカルバス仕様により、コンピュータによって自動的に設定され、管理されます。割り当てられた値を確認するには Windows NT 診断プログラムをご使用ください。

「スタート」→「プログラム」→「管理ツール（共通）」→「Windows NT 診断プログラム」と進み、「リソース」タブをクリックすると、本デバイス「COBPCITX」に割り当てられたリソースを確認することができます。

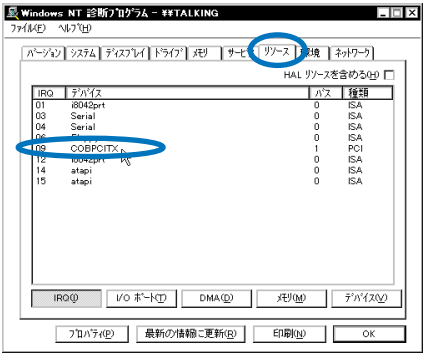

図 3.1-1 リソースの確認（IRQ）

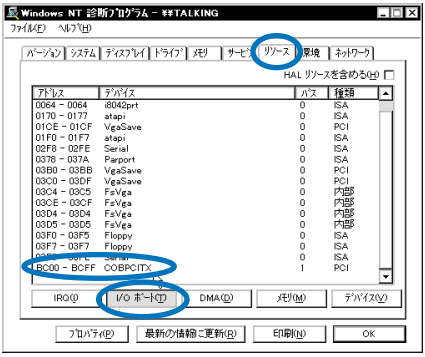

図 3.1-2 リソースの確認（I/O ポート）

注意

コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT診断プログラム」上に表示されないものもあります。コンピュータのマニュアルと「Windows NT診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

3.2 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

1. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タブをクリックしてください。

図 3.2-1　ネットワーク（「アダプタ」タブ）

2. 「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください。本製品の設定ダイアログが表示されます。

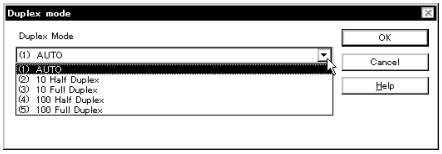

図 3.2-2　ネットワークメディアの設定

「Duplex Mode」リストからご使用の環境に合ったものを選択し、「OK」をクリックしてください。詳細はシステム管理者にご確認ください。

各項目の意味は以下の通りです。

- AUTO（デフォルト）

  Auto-negotiationを有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしている場合

  可能な最高の速度（100/10 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

  接続先機器（ハブなど）が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「AUTO」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、「100 Full Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。
  接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、「AUTO」を選択してください。

- 10 Half Duplex

  10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

- 10 Full Duplex

  10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

- 100 Half Duplex

  100Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

- 100 Full Duplex

  100Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

3. 「ネットワーク」ダイアログに戻り、「閉じる」をクリックします。

4. 「ネットワーク設定の変更」ダイアログで「今すぐコンピュータを再起動しますか？」という問いに対して、「はい」をクリックしてください。変更した設定は再起動することで有効となります。

4　本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えば UTP ケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、Windows NT はこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードする（バインドしない）ことによって回避できます。

1. 「コントロールパネル」→「ネットワーク」→「バインド」と進みます。「バインドの表示」で「すべてのアダプタ」を選択してください。

2. 本製品のアイコンを選択し、「無効」をクリックしてください。本製品のアイコンが無効（🚫）アイコンに変わります。使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有効」をクリックします。

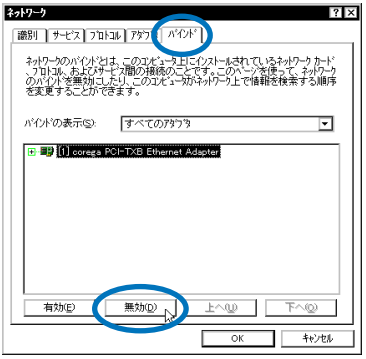

図 4-1　バインドの無効化

5　ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。**ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません**（一部の設

定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」と進み、「アダプタ」タブをクリックしてください(図3.2-1)。

2. 「ネットワークアダプタ(N):」の「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を選択し、「削除(R)」をクリックしてください。

図 5-1 ネットワークアダプタを削除

3. 以下のダイアログが表示されますので、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「はい」をクリックし、コンピュータを再起動します。

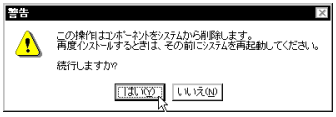

図 5-2 削除の確認

6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1. 「5 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タブで「追加..」ボタンをクリックしてください。「2.2 新規インストール」の手順 5. から再開することになります。